



編集・発行 湘南希望の郷  
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003  
TEL0466-48-4500

## Index

- |                      |    |                      |    |
|----------------------|----|----------------------|----|
| ■ 小出川の彼岸花 .....      | P1 | ■ 暑中お見舞い申し上げます ..... | P2 |
| ■ せせらぎ会・希望のバトン ..... | P3 | ■ 行事予定・編集後記 .....    | P4 |

## 小出川の彼岸花

希望の郷の施設の周辺はそれは見事な田園が広がり、どこか懐かしい田舎の風情に四季折々の味わいを体感できるところです。変化の無い風景に魅力を感じて来訪されえる方ももちろんいらっしゃると思いますが、初秋を迎えるこの季節、小出川の土手に彼岸花の紅い帯が浮き上がります。その距離 3 km。田圃の中央を流れる小出川は2級河川の細い川。のぞき込めば、そこそこの水量に鯉が悠々と泳ぐ姿があり、時折カルガモや鷺などを見ることがあります。雑草に占拠された川の土手ではありますが、踏み固められた道筋の両脇に一齐に花火のように真っ赤で華やかな大ぶりの花が咲き出すのです。青い空のもと黄金色に輝く田圃との色のコントラストは、思わず足を踏み入れたくなる風景となって、忘れかけたなにかを思い出させてくれるようです。それはほんの 10 日間程の出来事ですが、リュックを背負ってゆっくりと散策する人たちの姿も何もないこの田園風景に色を添えます。

彼岸花は球根の多年草で、水田の土手などに植えると、その匂いを嫌うモグラなどを寄せ付けられないと言われていて、昔から植えてあることが多いそうです。ここ小出川沿いは地元の方々が植えて増やして、名所と呼ばれるほどになり、いつの間にかそここの紙面にも登場するようになって、その積み上げた努力にも拍手です。

今年も間もなくその季節がやってきます。この赤の景色ぜひご堪能いただきたく、散策をおすすめしたいと思います。







### 短期入所再開にあたって

当施設では2月中旬より感染性胃腸炎拡散防止のため短期入所のご利用を一時休止させていただいていたところ、4月には新型コロナウイルスの感染防止のためと引き続きご利用の停止を続行しておりました。

6月に入り緊急事態宣言解除に伴い、要請の多い短期入所の役割を担うため再開とする運びとなりました。ただ、受け入れをする同じ居住区には、感染防止対策として面会はもちろん外出なども控えて、健康管理に気を付けている住

人さんたちがおりますので、短期入所の受け入れの再開には、ご利用2週間前からの健康調査の実施・入所当日の体調、体温のチェック・そして個室限定の受け入れと気配りを徹底しています。お互いに「三密」を避けることが合言葉になり、日常の消毒等もすっかり根付いて、施設を守ろうと感染防止への意識は皆強く持ってくださいっているようです。

何卒ご理解を賜り、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## せせらぎ会だより

### 暑中お見舞い申し上げます

いよいよ梅雨明け、夏本番の八月を迎える。今回、せせらぎ会だよりの執筆にあたり、先ず、七月の豪雨により犠牲になられた方々の御冥福をお祈りいたします。同時に、九州はじめ全国各地で頻発した豪雨の被害に遭われた皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

いま世界は、新型コロナウイルスと云う未知なる感染症と闘う渦中であって、20世紀の繁栄を享受してきた私達の一番大切な意識の変革が問われています。それは、きっと岐路に立つ時代の試練なのかも知れません。世界的大流行を意味する「パンデミック」は、古代ギリシャ語のすべての人々(Pandemos)が語源とされています。伝染病は、

誰にでも感染の可能性がある。こうした危機を乗り越えるには、どうするか。哲学者の岸見一郎氏は、「勇気がすべての人に伝染しなければなりません」と強調する。それはどんな「勇気」なのか、氏は二つ揚げる。一つは、他者を同じ仲間だと思ふ勇気。皆が共に闘う同じ人間であり、感染の有無によって地域や人々を差別しない。もう一つは、悲観的にも楽天的にもならない勇気。個人の力が及ばない問題であっても諦めない。氏は、悲観主義でも楽天主義でもない、「楽観主義」に立脚した勇気ある生き方を力説している(「今ここを生きる勇気」NHK出版新書)。この、岸見一郎氏の考え方は、「悲観主義は気分属し 楽観主義は意思に属する」(仏・アララン)の思想と相通じるものがあります。

「意思あるところに道はできる」との言葉もあります。私達は、ここで勇気をもって楽しく生活したいと思います。皆様も、暑さ厳しい折くれぐれも御自愛ください。 文責:自治会(K.I)



### 私の髪型

私は福祉の専門学校を卒業後、希望の郷に入職して今に至っております。今年で26年目になります。長年湘南希望の郷にいましたが、今は一時預かり「ひかり」で働いています。

私は、何度か髪型を変えております。髪を切る理由は気分を変えるため、新しい自分になるため、色々あると思いますが、私は気分を変える時に切っている所が多いと思います。

日韓ワールドカップの頃は、サッカーが好きな事もあって、当時、イングランド代表のベッカムの髪型を真似てソフトモヒカンにしたりしていました。また、坊主にしていた時は色を染めていた事があり、緑色にした事もありました。その時は

障がい福祉センターひかり 米永 昌輝

周りから芝生といわれ、自分でも若気の至りと、今思い出だけでも恥ずかしい限りであります。去年は生まれて初めて長髪にしました。でも周りの反応が悪くて、髪を切ったほうがいいと言われました。半年間かけて伸ばした事もありかなり心残りはありましたが…現在は短髪にしております。またいつか髪を伸ばしたいと思っております。

最後に、今年はコロナウイルスにより生活が変わってきました。生死に関わる事なので、健康に気をつけたいと思います。そして、「楽しい一日」を心掛けながら頑張っていきたいです。次の希望のバトンはひかり治療院の岩屋さんに繋げたいと思います。

### 田んぼの草取り

6月に植えた苗が背丈も株もすっかり大きくなった水田ですが、雑草もまた勢いよく一面に根を張っています。お米には八十八の手がかかると聞いた通り、雑草抜きも大切な維持管理。今年は寒川事業所のメンバーが助っ人で雑草抜きに入ったとか。泥んこに素足で、一本一本手で抜いて…真っ白い新米が待ち遠しい!





## 夏の絵

岩崎 正典

夏の季節はわくわく楽しい絵を描きたくなります。僕は、今、富士山にはまっています。存在感がある富士山が大好きです。



## 施設長の自粛中

溝渕 崇

普段、何をして過ごしていますか？と尋ねられた時の答えは大体決まっています、家でのおんびり読書していますと答えます。

4月～5月の自粛期間中、通勤する以外は自宅で過ごしていましたが、あまり普段と変わらなかったかもと振り返っています。

近所のショッピングセンターにある書店も2カ月間は閉店していました。その間窮したかと言えばそんなことはなく、昔から買っては来たもののそのままにしておく「積読」の癖があり、このストックに手を付けていました。

おかげで、当時は数ページめくって気持ちに乗らずうん十年ほったらかしにしていた本が読み終えられたり、字面だけ追って何が書いてあるのか頭に入らなかった本が少し理解



出来たりしたので、これは自粛に伴うポジティブな側面だったなと思っています。

## 献立委員会



7月7日七夕の夜は織姫と彦星が年に1度の……とロマンチックな物語に、いろいろな願い事を書いた短冊を、と夜空の星に思いを馳せて、昔からの行事を堪能します。食事もこの七夕には、そうめんを食べる風習があります。中国伝来の索餅（小麦粉と米粉を練って縄の形にしたお菓子）がそうめんへと変化して広まり、七夕そうめんとして食べるようになったと言われます。希望の郷の当日はもちろん七夕そうめんですが、星のコロッケ、星型ゼリーの入ったフルーツポンチと星三昧の特別膳です。「かわいいねえ。食べちゃうのもったいないみたい」なんて声も聴きながら、初夏ののど越しの良い涼しげなメニューに満足いただけた皆さんの「健康な1年を」と一緒に星に願いをかけました。



## ◆8月の予定◆

### 健康課より

藤沢病院 石井Dr.来診

6日(木)

厚誠会歯科検診

4日(火) 11日(火)  
18日(火) 25日(火)

御所見病院 安田Dr.来診

12日(水) 26日(水)



蝉しぐれもおもいっきり夏の今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年はコロナウイルスの影響でどの季節も季節らしさを感じるのが少し乏しいように思います。それでも、花や生き物、食べ物といった自然からの恵みは私たちに不変的な季節を届けてくれて、改めて自然の偉大さを気付かされました。猛暑が続きけだるい日々もありますが、変わらない夏を楽しみながら、爽やかな涼風を待つ。みんな自然に心地よい季節の感じ方、過ごし方をしていけたらいいですね。(A. S)